

大内委員発表資料

目 次

○日本における乳がん検診の研究経緯	1
○主要部位別年齢調整罹患率の年次推移	3
○年齢階級別乳がん罹患率の推移	5
○日本におけるマンモグラフィ併用による乳がん検診の比較	7
○「新たながん検診手法の有効性の評価」報告書(抄)	9
○「科学的根拠に基づく乳がん診療ガイドライン作成に関する研究」報告書(抄)	29
○平成15年度 がん研究助成金による研究中間報告要旨	57
○Screening for Breast Cancer : Recommendations and Rationale	62
○世界の乳がん検診の現況	66

日本における乳がん検診の研究経緯

日本における乳がん検診の研究経緯

昭和 62 年度	第 2 次老人保健事業（昭和 62—平成 3 年度）：乳がん検診（問診・視触診）の導入
昭和 62 年度	厚生省がん研究助成金「乳がんの集団検診に関する研究」（富永班）
平成 3 年度	公衆衛生審議会「保健事業第 3 次計画に関する意見」 ・自己検診法の普及、画像診断の導入に関する調査の必要性が指摘された
平成 3 年度	厚生省がん研究助成金「画像診断を中心とした乳がん検診の適正化に関する研究」（木戸班）
平成 4 年度	厚生省調査事業「乳がん検診への X 線撮影導入に関するモデル事業」
平成 5 年度	厚生省がん研究助成金「乳がん検診における画像診断の有用性の評価に関する研究」（木戸班）
平成 7 年度	厚生省がん研究助成金「マンモグラフィ導入による乳がん検診の精度管理の確立に関する研究」（大内班）
平成 8 年度	老人保健増進等事業「がん検診の有効性評価に関する研究」（久道班）
平成 9 年度	厚生省がん研究助成金「マンモグラフィを導入した乳がん検診システムの確立に関する研究」（大内班）
平成 9 年度	老人保健健康増進事業「マンモグラフィを導入した乳がん検診の実施体制についての調査研究」（大内班）
平成 9 年度	老人保健事業推進事業「成人病検診管理指導協議会のあり方に関する調査研究事業」（久道班）
平成 10 年度	老健法検診費の国庫補助等の一般財源化
平成 10 年度	老人保健事業推進費等補助金「がんの原因となる微生物等を発見する検診の有効性に関する研究についての文献的調査」（久道班）
平成 11-12 年度	厚生省がん研究助成金「50 歳未満の乳がん検診のあり方に関する研究」（遠藤班）
平成 11 年度	老人保健事業推進費等補助金「マンモグラフィによる乳がん検診の推進と精度向上に関する研究」（大内班）
平成 11 年 12 月	医療保険福祉審議会老人保健福祉部会「高齢者保健事業の在り方に関する専門委員会」報告 ・乳がん検診については、マンモグラフィ併用方式の漸次導入を、他のがん検診については、現行の手法による取組みを引き続き推進することを推奨 # 1)
平成 12 年 3 月	「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」の一部改定について 厚生省老人保健福祉局老人保健課長通達（老健第 65 号）
平成 12 年 4 月	マンモグラフィ併用による乳がん検診の漸次導入開始（50 歳以上）
平成 12 年度	厚生省老人保健事業推進費等補助金「新たながん検診手法の有効性評価」（久道班） 同・分担研究「マンモグラフィによる乳がん検診の適正実施のための研究」（大内班）
平成 13 年 12 月	厚生労働省「がん検診の企画・評価に関する検討会議」 ・40 歳代へのマンモグラフィ導入について提言
平成 13-14 年度	厚労省がん研究助成金「50 歳未満の画像による乳がん検診の有効性に関する研究」（遠藤班）
平成 13 年度	厚労省老人保健事業推進費等補助金・高齢者に対する老人保健事業のあり方と効果的な実施に関する研究事業「がん検診」（大内班）
平成 14 年度	厚労省老人保健事業推進費等補助金・高齢者に対する老人保健事業の在り方に関する調査研究事業「がん検診に関する効果的な推進手法の開発に関する検討」（辻班）
平成 15-16 年度	厚労省がん研究助成金「乳がん検診の精度及び効率の向上に関する研究」（大内班）

1) 老人保健事業第 4 次計画・関連資料集、平成 11 年 12 月、厚生省老人保健福祉局老人保健課

老人保健事業

第 1 次（昭和 57—昭和 61 年度）	胃がん、子宮がん
第 2 次（昭和 62—平成 3 年度）	肺がん、乳がん（問診・視触診）、子宮体がん
第 3 次（平成 4—平成 11 年度）	大腸がん
第 4 次（平成 12 年度～）	乳がん（問診・視触診およびマンモグラフィの併用、50 歳以上）

乳がん検診への x 線撮影導入に関する調査・モデル事業（厚生省老人保健・画像診断によるモデル事業）

平成 2—3 年度	研究調査事業
平成 4—6 年度	モデル事業

厚生省老人保健強化推進特別事業「マンモグラフィ検診の実施と精度向上に関する調査研究」

平成 10 年度	宮城県、宮城県医師会、仙台市医師会
----------	-------------------

主要部位別年齢調整罹患率の年次推移

厚生労働省がん研究助成金「地域がん登録」研究班による
がん罹患数・率全国推計値1975-1998年

1998年における全国がん罹患数・率推計値の概要

図3. 主要部位別年齢調整罹患率（人口10万対）の
年次推移（性別）

図3-1. 1985年日本人モデル人口

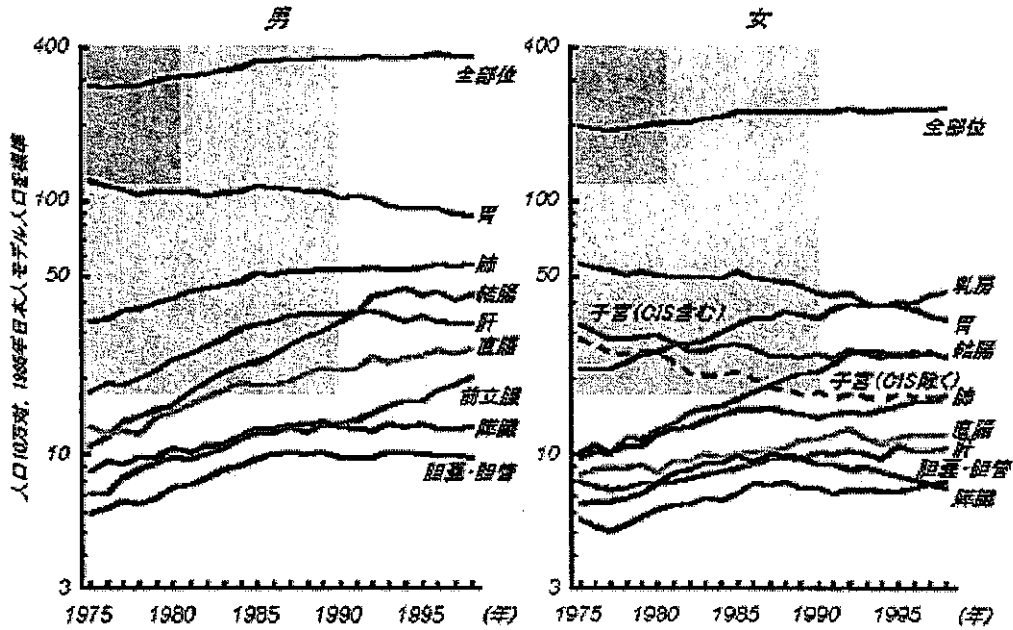
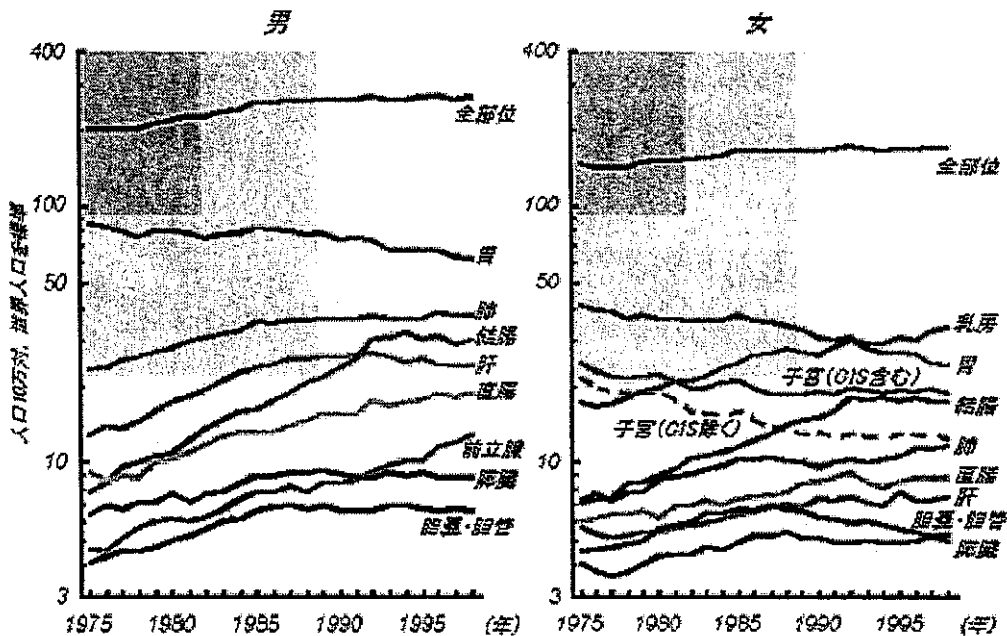


図3-2. 世界人口

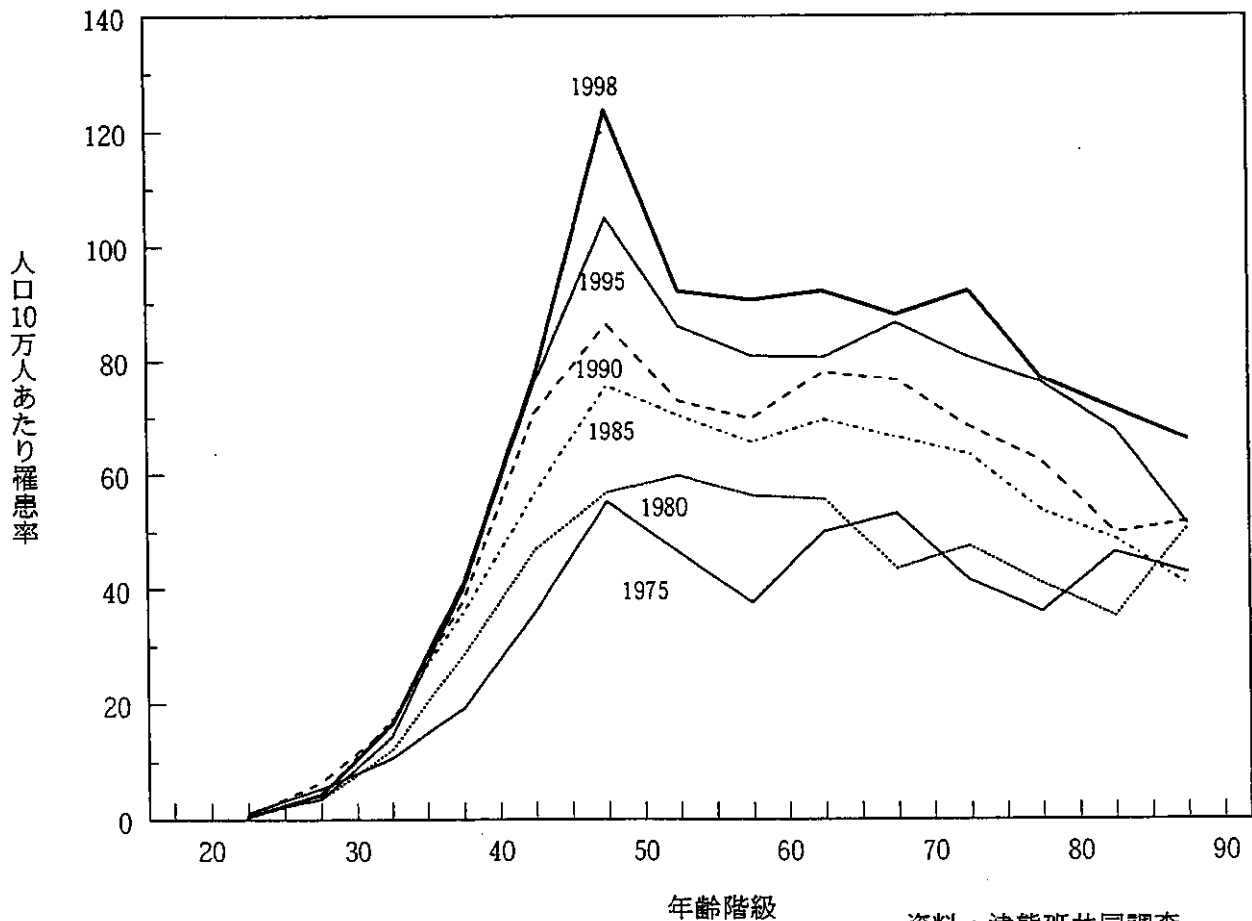


年齢階級別乳がん罹患率の推移

年齢階級別乳がん罹患率の推移

年齢	診断年次						増加率 1998/1975
	1975	1980	1985	1990	1995	1998	
5歳階級別							
20-24	1.2	1.1	0.8	0.6	0.9	0.5	0.42
25-29	5.4	3.5	4.5	5.1	3.6	4.4	0.81
30-34	10.7	12.1	17.4	16.5	14.4	16.5	1.54
35-39	19.2	28.5	36.0	35.2	39.9	40.8	2.13
40-44	36.1	46.9	56.8	66.4	76	77.1	2.14
45-49	55.3	56.9	75.6	85.2	105	123.7	2.24
50-54	46.3	59.8	70.4	68.8	86	92.2	1.99
55-59	37.6	56.3	65.6	67.1	80.9	90.6	2.41
60-64	50.1	55.7	69.6	73.6	80.6	92.2	1.84
65-69	53.2	43.5	66.5	75.3	86.6	88	1.65
70-74	41.5	47.5	63.4	66.9	80.6	92.2	2.22
75-79	36.1	41.0	53.7	61.3	76.2	77	2.13
80-84	46.4	35.3	48.8	51.7	67.9	71.5	1.54
85+	42.8	50.7	40.7	52.9	51.4	66.2	1.55
10歳階級別							
20-29	6.8				4.9		0.72
30-39	29.9				57.3		1.92
40-49	91.4				200.8		2.20
50-59	83.9				182.8		2.18
60-69	103.3				180.2		1.74
70-79	77.6				169.2		2.18

厚生労働省がん研究助成金「地域がん登録」研究班によるがん罹患数・率全国推計値 1975-1998年
(2003年6月)



日本におけるマンモグラフィ併用による乳がん検診の比較

日本におけるマンモグラフィ併用による乳がん検診
40～49歳と50～69歳の比較

表. 検診方法別・年代別の検診精度

	マンモグラフィ+視触診				視触診のみ			
	40～49歳		50～69歳		40～49歳		50～69歳	
	宮城	徳島	宮城	徳島	宮城	徳島	宮城	徳島
受診者数	15,271	4,369	17,755	7,670	49,743	5,339	97,516	8,312
要精検者率	10.4%	7.1% #1	7.2%	7.1% #2	8.3%	7.7% #1	3.9%	7.7% #2
発見乳癌率	0.20%	0.19% #1	0.21%	0.39% #2	0.11%	0.09% #1	0.08%	0.15% #2
感度	93.8%	84.6% #1	95.0%	97.0% #2	87.3%	72.7% #1	93.2%	73.7% #2
特異度	89.8%	-	93.0%	-	91.8%	-	96.1%	-
陽性予知度	1.9%	-	3.0%	-	1.3%	-	2.1%	-

注

徳島のデータは、#1: 39歳以下を含む、#2: 70歳以上を含む

引用文献

- 1) 大貫幸二、大内憲明、木村道夫、他。40歳代と50歳代以上のマンモグラフィ併用検診の比較。日本乳癌検診学会誌、9: 139-145, 2000.
- 2) Morimoto T, Sasa M, Yamaguchi T, et al. Breast cancer screening by mammography in women aged under 50 years in Japan. Anticancer Res, 20: 3689-3694, 2000.